

## インテリアコーディネーター無料実力テスト 問題

### 問1

木製建具の金物に関する次のア～エに示す用語と最も関わりの少ないものをそれぞれの右に記した語群の中から選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 引違い戸 【語 群】 1. 中折ねじ締り 2. クレモンボルト 3. 戸車

イ 片引き戸 【語 群】 1. 鎌錠 2. グラビティヒンジ 3. 舟底引手

ウ 親子ドア 【語 群】 1. フランス落し 2. レバーハンドル 3. クレセント

エ 外開き窓 【語 群】 1. 窓締り 2. あおり止め 3. 関金

### 問2

インテリアの安全に関する次のア～エに示す記述と、最も関わりの少ないものをそれぞれの下に記した語群の中から選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 地震や災害時の災害防止

【語 群】 1. 網入りガラス 2. 合わせガラス 3. 熱線吸収ガラス

イ 消防法の防災対象物品

【語 群】 1. カーテン 2. カーペット 3. 壁紙

ウ 建築基準法の不燃材料

【語 群】 1. 漆喰 2. パーティクルボード 3. ロックウール

エ 滑りにくい玄関床材

【語 群】 1. 大理石本磨き仕上 2. 花崗岩ジェットバーナー仕上  
3. 豆砂利洗い出し仕上

### 問3

家具の素材に関する次の1～5の記述のうち、不適當なもの2つを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。  
(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 家具に使用される木質系材料の一つに成形合板がある。これは木材を化学処理し繊維状にしたものに、フェノール樹脂を加えて成形し、高温高压で圧縮して作られたものである。
- 2 籐はつる性の植物で、インドネシア、フィリピン産が多い。表皮はほうろう質状で硬く、しかもしなやかで弾力性に富み、曲げ加工に優れている。太さや色艶および加工性によって使い分けられる。
- 3 アルミニウムの展延性に富む特長を活かした家具部材には、押し出し加工や絞り加工のものがある。また、合金などの方法により鑄造性を向上させ、いすの脚や肘とか、テーブルのベースなどに使用される。
- 4 プラスチックには熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂があるが、可塑性などの添加によりいろいろな硬さに調整することができるので、家具においてもクッション材とか、いすの座など使用する範囲が広い。特にFRPと呼ばれるガラス繊維をメラミン樹脂で塗覆し硬化させたものは、自由な形作りが容易に行えることからよく使われる。
- 5 ステンレスは鉄とクロム、ニッケルなどの合金で耐蝕性に優れた素材である。いすの部材や流し台のシンクなどに使われる18-8ステンレスと呼ばれるものは、クロム18%、ニッケル8%を含有している。

問4

床材の性能と用途に関する次のア～エに示す記述について、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 断熱性と吸音性に優れクッション性もあるので、高齢な人の部屋や子供部屋などに適している。

- 【語 群】 1. 合成樹脂系塗り床材 2. 塩化ビニル床材  
3. コルクタイル

イ 清掃が容易で、足裏の感触が良い素材なので、一般住宅の床材料として広く使われているが、集合住宅の場合などには、階下への音に配慮が必要である。

- 【語 群】 1. フローリング 2. ニードルパンチカーペット  
3. タフテッドカーペット

ウ 湿気に強く清掃が容易なので、トイレや洗面所などに適した材料である。低価格で短時間での施工が可能なので、改修工事によく使われる。

- 【語 群】 1. コルクタイル 2. 磁器タイル 3. 塩化ビニルシート床材

エ 吸湿性と保温性が高く、吸放湿性に優れた材料で、寝殿造の時代には座具として使われた。

- 【語 群】 1. ウイルトンカーペット 2. 畳 3. 緞通

問5

木材に関する次の記述の( )部分に、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

(1) 木材は比較的軽量で、強度が大きく、( ア )も優れている。

- 【語 群】 1. 防腐性 2. 難燃性 3. 吸放湿性

(2) 樹幹の中心軸と直角に切断した面を、( イ )面という。

- 【語 群】 1. 木口 2. 板目 3. 柃目

(3) 柱材の木取りの中で、樹心部を含んだ材を( ウ )という。

- 【語 群】 1. 柱心材 2. 心持材 3. 心去材

(4) 針葉樹材は主に構造材としてもちいられるが、加工性に富むため( エ )などにも広くもちいられる。

- 【語 群】 1. 和室建具 2. 小舞 3. 緩衝材

問6

塗装に関する次のア～エの記述について、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 木材の木目を生かしながら着色し、自然のつやに仕上る方法。

- 【語 群】
- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. オイルフィニッシュ   | 2. OSフィニッシュ |
| 3. 汚れ止めワックス仕上げ |             |

イ 石膏ボード下地の壁を、淡い色の艶のない仕上げにしたいが、塗装の際の匂いを最少にしたいとの条件で選んだ方法。

- 【語 群】
- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. ウレタン塗装    | 2. OPローラー仕上げ |
| 3. EPローラー仕上げ |              |

ウ カウンターを漆塗りに仕上げたいが、予算が少なく現場塗装でとの条件で選んだ方法。

- 【語 群】
- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. クリアラッカー塗装 | 2. OSふきとり塗装 |
| 3. カシュー塗装    |             |

エ ホワイトアッシュなどの木材がもつ自然な質感を保った仕上げで、ドイツ・デンマークなどで見直されてきた家具の仕上げ方法。

- 【語 群】
- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. かきしぶ塗装 | 2. ソープフィニッシュ |
| 3. とのこ塗装  |              |

問7

木造住宅に関する次の1～5の記述のうち、不適當なもの2つを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 木造屋根の小屋組には和小屋と洋小屋がある。
- 2 筋かいは木造以外の構造にも使用される。
- 3 一般的に木造建築物は、鉄骨造建築物と比べ梁間を大きくとることができる。
- 4 柱、梁の接合部は仕口・継手と呼ばれ、建築金物で補強することが多い。
- 5 在来構法の柱には構造柱として、通柱、管柱、間柱がある。

問8

次のア～エのインテリアの用語について、それぞれの下に記した語群の中から最も適當な記述を選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 不陸(ふろく又はふりく)

- 【語群】
1. 同一平面状に表われる2つの直線が平行でないこと。
  2. 水平や平らでなく凹凸していること。
  3. 角になる部分の直角をなくして平らにすること。

イ 見込(みこみ)

- 【語群】
1. 仕上の終わる部分や複数の仕上の取り合い部分、また、その納まりのこと。
  2. 部材(戸框、方立など)の見付け面から奥行き方向のこと。
  3. 引き戸を立て込む際を考慮して、敷居と鴨居の間の余裕のこと。

ウ 矩(かね)

- 【語群】
1. 木材の繊維が切削方向により、逆起しされる状態のこと
  2. 直角のこと。
  3. 単純に平面と平面を付き合わせる接着方法のこと。

エ 揃(ぞろ)

- 【語群】
1. 2つの部材の出をそろえて納めること。
  2. 単一素材でまとめること。
  3. 部材の全長を図ること。

問9

設計図書に関する次の(1)～(4)の記述の( )の部分に、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- (1) 室内壁の仕上げ材の数量を正確に算出するためには、平面詳細図のほかに( ア )が不可欠である。

【語 群】 1. 断面図 2. 展開図 3. 軸組図

- (2) 家具などの形状を一つの図で三次元的に表現する際に、縦、横、高さの実寸法の比率で描くことができるのは( イ )である。

【語 群】 1. 3消点透視図 2. 3面図 3. アイソメ図

- (3) 建物の高さ方向の寸法構成や部材寸法、構法、仕上げ方法などを詳細に表す図面として( ウ )がある。

【語 群】 1. 矩計図 2. 造作図 3. 現寸図

- (4) 仕上げ表の塗装の種類でEPと書いてあるのは( エ )のことである。

【語 群】 1. エマルジョンペイント 2. 油性ペイント 3. 錆び止めペイント

問10

建築基準法に関する次の(1)～(4)の記述の( )の部分に、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- (1) 第一種低層住居専用地域にある木造住宅に増築工事する場合、増築分の延面積が( ア )㎡以下なら建築確認申請を行う必要はない。

【語 群】 1. 10 2. 15 3. 20

- (2) 一般に建ぺい率と呼ばれているのは、建築物の敷地面積に対する( イ )の割合のことである。

【語 群】 1. 床面積 2. 延べ面積 3. 建築面積

- (3) キッチンなど常時火を使う部屋と他の部屋が連続している場合、内装制限は両方の部屋に適用される。それを避けるためには、2室の間に天井面から50cm以上の( ウ )で仕上げた下がり壁を設ける方法がある。

【語 群】 1. 難燃材 2. 準不燃材 3. 不燃材

- (4) 階段に代わる斜路の勾配は( エ )以下と定められている。

【語 群】 1. 1/8 2. 1/12 3. 1/15

問 11

居間等の計画に関する次の(1)～(4)の記述の( )の部分に、それぞれの下記の語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- (1) 居間で行われる家族の生活行為は様々である。また、玄関、台所、個室、便所などとの連絡動線も多くなり、(ア)は見かけよりも狭くなることがあるので注意が必要である。

【語 群】 1. 収納スペース 2. 採光面積 3. 有効スペース

- (2) 団らんや食事の場合は、コミュニケーションしやすいように、お互いが向き合うようにすわるのが一般的である。このような対面式の(イ)をソシオペタルという。

【語 群】 1. 家具配置 2. 集合の形 3. 生活行為

- (3) くつろぎや団らんの場となる居間を計画するとき、人間同士の向きや窓からの眺望、テレビの位置などによる(ウ)の方向性についても十分検討して、家具の配置を決めることが大切である。

【語 群】 1. 外光 2. 視線 3. 動線

- (4) 空間の適切な大きさを考えるには、そこで人が行う動作の作業域に道具や家具などの寸法を加えた(エ)を基準にすべきである。

【語 群】 1. 単位空間 2. 内法空間 3. 動作空間

問 12

騒音対策に関する次の1～5の記述のうち、不適當なもの2つを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 屋外騒音に対する外壁の遮音性を高めるため、外壁内部にグラスウールを充填した。
- 2 屋外騒音に対する遮音性を高めるため、開口部には気密性の高いサッシに合わせガラスを組合せて用いた。
- 3 オーディオルームで発生する音が他室に伝わらないようにするため、間仕切壁を床スラブから上階スラブまで達するようにした。
- 4 バルコニーに設置したエアコン室外機の振動による固体伝搬音を防止するため、室外機脚部の下に防振ゴムを用いた。
- 5 子供の飛び跳ねなどによって生じる床衝撃音を防止するため、ニードルパンチカーペットを敷いた。

問 13

照明器具に関する次の(1)～(4)の記述の( )の部分に、それぞれの下に記した語群の中から該当するものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- (1) 棚、またはくぼみにランプを隠し、天井面と壁面の上部を照らす建築化照明を( ア )という。

【語 群】 1. コーブ照明 2. コーニス照明 3. バランス照明

- (2) 熱線の多くをミラー後方に逃がすため、輻射熱の少ないスポット光が得られるランプを

( イ )付きハロゲンランプという。

【語 群】 1. トップミラー 2. ダイクロイックミラー 3. ハーフミラー

- (3) 熱感センサ付きポーチ灯は、人が近づくと明るくなるが、センサは必要に応じて( ウ )を調整することができる。

【語 群】 1. 検知速度 2. 検知範囲 3. 検知照度

- (4) 使用ランプと器具効率が同じであれば、( エ )配光の照明器具は、他の配光器具に比べ、床やテーブル面などの水平面照度が得られやすい。

【語 群】 1. 直接形 2. 全般拡散形 3. 間接形

問 14

結露に関する次の1～5の記述のうち、不適当なもの2つを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 南側の窓ガラスに発生する結露を防ぐためには、断熱効果のある複層ガラスより、太陽熱の侵入を遮断する熱線反射ガラスのほうが効果がある。
- 2 内断熱の場合では防湿層を施していないと、冬季に室内で発生した水蒸気はグラスウールなどの断熱材を透過し、外気によって冷やされている壁の内側に結露が発生することがある。
- 3 開放型のガス・石油暖房器具は、室内の空気を使って燃焼させ、燃焼排気を室内に放出するので室内が乾燥して結露しにくい。
- 4 壁の仕上は、吸水性ポリマーなどをコーティングした吸放湿性壁紙を貼ったり、珪藻土で仕上げたりすることで結露による被害をある程度抑えることができる。
- 5 地下室は、室内温度が地温より高くなる夏季のほうが冬季よりも結露を起こしやすいので、ウレタンフォームなどで十分な断熱処理が必要である。



問 15

給水・給湯設備に関する次のア～エに示す記述について、それぞれの下に記した語群の中から最も該当するものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア シャワーを正常に作動させるための最低必要圧力はどれか。

【語 群】 1. 0.1kgf/cm<sup>2</sup>      2. 0.4kgf/cm<sup>2</sup>      3. 0.7kgf/cm<sup>2</sup>

イ 停電や断水時にも若干の給水が可能な給水方式はどれか。

【語 群】 1. 高架水槽方式      2. ポンプ圧送方式      3. 水道直結方式

ウ 給水設備の水質汚染に最も関係の深い用語はどれか。

【語 群】 1. オーバーフロー      2. クロスコネクション      3. ウォーターハンマー

エ 中央方式の給湯設備の給湯温度として適切な温度範囲はどれか。

【語 群】 1. 40～45℃      2. 60～70℃      3. 90～95℃

問 16

排水設備に関する次の1～5の記述のうち、不適當なもの2つを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 トラップは、排水管からの臭気や虫が、室内に入るのを防いでいる。
- 2 浴室の洗い場の床排水には、ふつうSトラップが使われる。
- 3 非サイホン式トラップはサイホン式のものに比べて、排水通過時の自浄作用に優れている。
- 4 厨房器具からの排水は、雑排水の一種と考えてよい。
- 5 通気管は、排水管中の空気圧の変動を防ぎ、トラップの破封を防ぐために設置される。

問 17

日本における建築やインテリアの西欧化、近代化に関し、次の(1)～(4)の記述の( )の部分に、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- (1) ジョサイア・コンドルは明治時代初期に来日して( ア )など多くの洋風建築を設計するとともに、建築教育のさきがけを築いたことで知られている。

【語 群】 1. グラバー邸 2. 鹿鳴館 3. 東京駅

- (2) アメリカの建築家フランク・ロイド・ライトは( イ )を設計したが、同時に日本の文化や美術、建築に強い関心を持っていたといわれている。

【語 群】 1. 国会議事堂 2. 赤坂離宮 3. 旧帝国ホテル

- (3) 来日して日本の工芸デザインの指導を行ったドイツの建築家ブルーノ・タウトは、( ウ )を高く評価し「日本美の再発見」を著したことで知られている。

【語 群】 1. 日光東照宮 2. 桂離宮 3. 法隆寺

- (4) 近代的なインテリアデザインを日本に紹介した女性のインテリアデザイナー( エ )は、ル・コルビュジェらと共同で家具デザインを行ったことで知られている。

【語 群】 1. シャルロット・ペリアン 2. アイリーン・グレイ  
3. チニ・ボエリ

問 18

歴史に関する次の(1)～(4)の記述の( )の部分に、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- (1) 織田信長が安土城を造った頃のヨーロッパは、( ア )様式の後期にあたり、アンドレア・パラディオがラ・ロトンダなどを造っている。

【語 群】 1. ロマネスク 2. ルネサンス 3. ロココ

- (2) 現在でも知名度の高い( イ )のマイセン磁器は、18世紀の初めに始まったもので、絵付けには日本や中国の影響も受けている。

【語 群】 1. ドイツ 2. オランダ 3. ロシア

- (3) ナポレオンが皇帝になった( ウ )の初期に、フランスを中心に豪壮、華麗なアンピール様式が始まった。

【語 群】 1. 15世紀 2. 17世紀 3. 19世紀

- (4) 日本が明治初期の文明開化の頃、イギリスでは( エ )らによるアーツ・アンド・クラフツの運動が進められていた。

【語 群】 1. ウィリアム・モリス 2. エドワード・ウィリアム・ゴドウィン  
3. チャールズ・レニー・マッキントッシュ

問 19

色彩に関する次の1～5の記述のうち、不適當なもの2つを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 マンセル表色系において、無彩色はN5のように明度のみで表記される。
- 2 マンセル表色系において、彩度の最大値は10である。
- 3 マンセルの記号で、9Y6/9としてある色は、黄色でも黄赤に近い色相である。
- 4 大きな面で見ると彩度は、小さい見本で見るときよりもの高くなって見える。
- 5 黄の補色に当たる色相は、青紫である。このような補色どうしを並べると、それぞれの彩度がより高く見える。

問 20

ウインドウトリートメントに関する次のア～オに示す記述について、それぞれの下に記した語群の中から該当するものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 上部のレールから、ルーバーと呼ぶ細長いスラットを吊り下げ、その下部を連結し、操作具によってスラットの角度をかえたり、左右に開閉することもできる。

- 【語 群】 1. ベネシャンブラインド                      2. パーチカルブラインド  
3. アコーディオンカーテン

イ スクリーンを上部のチューブに巻き取って昇降させる方式で、シンプルな外見と、多彩な素材が利用できることを特徴とする。

- 【語 群】 1. ロールスクリーン                      2. プリーツスクリーン    3. パネルスクリーン

ウ カーテンのたて方向に、適当な間隔をおいて吊紐を取り付け、それを上下に操作することで開閉を行いながら、「バルーン」とか「さざ波状の起伏」などの外観をつくりだすもので、いろいろな素材やテクスチャーの特長を生かした表現ができる。

- 【語 群】 1. プリーツシェード                      2. スクラップカーテン    3. ローマンシェード

エ レースなどの薄地の布地を使ったカーテンで、豊かな量感と、柔らかい雰囲気を出すための「ひだ」のとり方として、最も効果的なのはどれか。

- 【語 群】 1. ギャザーひだ                      2. はこひだ                      3. 片ひだ